

保育おおさか

令和6年7月1日

No.587



発行人 森田 信司 編集人 向井 秋久

大阪市中央区中寺1丁目1-54

TEL.06-6762-9001

FAX.06-6768-2426

https://www.niji-tumi.net/

大阪府社会福祉協議会・保育部会(大阪府保育協議会)



川遊び
たのしいなあ
八尾市
認定こども園
ハッピーチルドレン
保育園



なかがわももか
中川百花さん

5年勤続感謝状贈呈式では、受彰者569人を代表して中川百花さん(上野ひだまりこども園)が、森田部会長から受け取られました。表彰された方々には、部会長より感謝の意とともに

(2面へ続きます)

令和6年度
保育部会総会

回り、人材確保につながる 保育業界のイメージアップを

5月21日、令和6年度総会をホテルモントレグラスミア大阪で開催し、確保につながることを期待したい」とあい約200人にご参集いただきました。さつされました。

冒頭で森田信司部会長は、こども家庭庁における「保育人材確保懇談会」の発足にふれ、「人材確保支援策を着実に進める一方で、安心安全で、一人ひとりに寄り添った日々の保育

が業界のイメージアップを図り、人材人衆議院議員の代理で、秘書の森楓之介氏、大阪府議会議長の中合恭典氏、大阪府福祉部子ども家庭局長の福本泰延氏のご祝辞、主催者を代表して大阪府社会福祉協議会井手之上優会長の

ごあいさつがありました。

令和6年度 春の叙勲

瑞宝双光章

社会福祉法人阪南福祉事業会
さくらこども園
元園長 ながの さぶろう 永野 三郎 氏



瑞宝単光章



幼保連携型認定こども園
かぐはし保育園
園長 ふじきくこ 藤 幾久子 氏

認定こども園 双葉児童園
保育教諭
にしだ えみこ 西田 栄美子 氏



(1面からの続き)

に、今後のさらなる活躍を期待してエールを送られました。

総会議事では、令和5年

度事業報告・収支決算、令和6年度事業計画・収支予算を報告いたしました。

(事務局)

総会講演 記念

できないことを嘆くより できることに感謝しよう

第2部の記念講演では、元保育士・幼稚園教諭で、『ママの足は車イス』の著者、又野亜希子氏に、「命の輝き」車イスから見える世界についてこうスピーチ」をご講演いただきました。



又野 亜希子さん

保育士だった又野さんは28歳のとき、事故で頸椎を損傷して車椅子生活を余儀なくされました。麻痺のある体での日常生活は今まで難なくできていたことができなくなり、心が折れそうになったことも。でもある時、頑張ってきたことが実を結びはじめると、同じ景色が今までとは違って見えてきました。できないことを嘆くより、できることに感謝しようという気持ちになりました」と自身の経験を振り返りました。

続いて、「挑戦し、成功した喜びは自信になり、その

喜びは幸せにつながります。『できた!』と達成感を積み重ねることで、子どもたちに幸せを届けられます」という言葉が心に響きました。また、「社会的弱者となったことで人の心が感じられるようになり、何気ない言葉に深い優しさを感じます」と話されました。

「体が不自由な私と、まだ自分のこともままならない子どもは、ある意味で同じ立場。子どもにも、保育者の心の声は必ず届いています」というお話に、子どもと真摯に向きあう姿勢や心のあり方を問われた気がしました。(編集委員S・K)



調査研究委員会 事業計画

本委員会では6つのグループに分かれて調査研究活動を行い、部会の皆様に情報を発信しています。

資料集編纂グループ

各市町村の保育施設などにおける補助金の動向や人口動態の把握を通して現状と今後の変化を予測し、園運営に役立てています。また、今年度から新たな試みとして資料集の電子化を進め、会員園の皆様が活用しやすい資料集の作成に努めています。なお、収集データは保育部会ホームページ「にじいろつみきネット」に掲載する予定です。

こども未来研究グループ

少子化が深刻化するなかで、法人・園が安定した運営を維持できるよう、公定価格の仕組みや、将来起こりうる運営上の課題について調査研究を行っています。

人材確保グループ

保育業界の人材不足が続くなか、人材の「確保」と

た研修を検討していきま

次世代フォローアップグループ

「定着」を目的に、採用活動におけるミスマッチを防ぐため養成校に訪問し、学生に説明会を行っています。また、潜在保育士の再就職や復職に向けた支援について情報を提供していきます。

ICT化検討グループ

現場でのICTシステム導入による効果や課題を調査しています。また、保育におけるDX化の動向について情報収集し、その活用に向けた情報発信を行っていきます。

研修グループ

これらに加えて、今年度より二つのグループが発足しました。

保育の質の向上を目的

に、学術研究者と委員のパートナーシップを構築し、研修による保育者の「人材育成」に取り組んでいきます。今後、研修内容の企画などを行うと共に、多くの保育者が効率的に受講できるようにeラーニングを活用し

た研修を検討していきま

今年になって著名な方々が亡くなったというニュースをよく見聞きするようになりました。なかでも驚いたのはキダ・タローさんの訃報です。93歳でこの世を去られたキダ・タローさんのことは知らなくても、彼が残した数々の名曲は老若男女問わず知っているのでないでしょうか。テレビから流れる大阪を代表するようなCMソングは、イントロを聞くだけで歌詞が出てくるほど馴染みがあり、つい口ずさんでしまう曲ばかり。昔から耳にし、今も記憶に残る名曲です。



「えっ!この曲も、キダタローさん!」と驚くこともありませんが、5000曲を生み出した彼が、浪速のモーツァルトと呼ばれるのも納得です。幼いころに見聞きしたことが心に残るのは、保育現場でも同じです。関西の芸能文化を支えたキダ・タローさんのご冥福をお祈りします。(編集委員Y・T)

みんなが主役！
明るく楽しくなる
保育現場の秘訣！

焦点

～何を切り取るか、どう切り取るか～



ほめ育シニアコンサルタント
中園 暁子 氏

◆良いところがなごっ？

私の仕事のひとつに、就職支援があります。その支援のなかに「自己PR」の作成があります。その作成のために、学生さんや求職者の方に「あなたの良いところや強みは何ですか？」と質問をするのですが、多くの方が「ないです」と苦笑いされたり、考え込まれたりします。また、さまざまな活動を通して「自分をほめてくださいな」とお伝えすると、「ほめるところがありませんですよね」と言われることも少なくありません。

◆焦点は「癖」

焦点とは、ふだん私たちが、対象の「何に光を当てているか」何を見ているかです。同じ映画を見ても感想が全く違うことがあります。ある人物に対して「感じのいい人だなあ」と思う人もいれば「私は〇〇が気に入った」という人もいます。「焦点の違いが分かかります。」

意識せずに過ごしている、人間は「いつも」の行動をします。「癖ともいいます。いつも食べているものを食べ、いつも見る番組を見る」という具合です。この「いつも」のなかに「焦点」も入ってきます。いつも見ている相手、いつも見ている悪いところなどです。「自分には良いところがない」と思ったまま「いつも」過ごしていると、うまくできたこともほめられなくなり、記憶から消えてしまふ可能性もあります。しかし、「私には良いところがない」と思い込んでいる方も、「自分の良いところは何？」と改めて問いかけ、これまで打ち込んだことややり遂げたこと、ほめられた経験など思い出ししてもらい、良いところや努力したこと、焦点を移していくと、良いところがたくさん見つかります。そのとき、多くの方が「考えたことがなかった」「それは強みなんですかね？ 自分としては普通なんですけど」と自覚に至っていなかったことが分かかります。

他のテーマでも書きましたが、「いつも」、つまり「癖」を変えることは可能です。そのためには「意識すること」がスタートです。「あ、また相手の悪いところを見ていたな。よし、今から良いところを見つけてみよう」と意識して「わざわざ」見つけに行くことが最初の練習です。

◆あなたの良いところは？

では、「あなたは自分の良いところや強みは何ですか？」と今聞かれたら、何と答えますか？ おこがましいとか、厚かましく思われるのではないかと「いつも」を取り払って「いいところ」を思い当たらないときは、人にほめられたことを思い出しみてください。「笑顔」「優しさ」「思いやり」「行動力」「あなたがいると助かる」「丁寧に仕上げられる」など、出てきた言葉を手帳や日記帳などどこかに書き記しておいてほしいなと思います。

記したりする時間、あなたの「焦点」は「自分の良いところ」に向いていることになりません。そのメモを見返すことも含め、この時間を大切にしたいなと思います。意識するために、そして記憶に定着するために、人間には恒常性があり、変化を嫌い「いつも」に戻りたくなる習性があると言われています。ここを超えようのにかかる時間は21日間とも250日ともいわれまが、少し時間がかかりますが、早ければ一カ月も経たず、焦点が変化することになります。自分に自信をもりたい、職場の人間関係を良くしたい、子どもの成長を助きたい、というときに焦点を意識し、自分と相手を見るところを変えることがポイントです。

◆さまざまな焦点

焦点には面白いことがあります。「人によって違い」が出てくるのです。たとえば、子どもの良いところを発見することは自然にできる方でも、家族には厳しくなったり、焦点が

狭くなったりネガティブになったりすることがあります。私の場合は完全に夫にだけ厳しくなりませんが（笑）。仕事と家庭での焦点の違いや、自分の好調不調による違いなども考えられます。ここにも「癖」があるかもしれません。

◆焦点は自分次第

私たちは、実にさまざまなおところに焦点を当てながら生きています。仕事に人間関係、家族、自分の性格や過去や未来や人生。どこを切り取り、どう光を当て、どう見るか。これも焦点次第ともいえます。

こちら側からの光の当て方を変えたことで、生き生きと輝きだした部下もいます。自分への見方を変えたことで、仕事へのやりがいを見出した60代の方もいます。

焦点は自分次第です。今日のあなたは何を見ていますか？

次回は8月号で
実践！〜コーチング
コミュニケーション基礎編
「聴く・質問」をお届け
します。



寝屋川市

園児の創造力を
バックアップ

エールこども園

幼保連携型認定こども園

京 阪本線寝屋川市駅から15分、緑豊かな空間が広がるエールこども園。大きな公園と隣接していることもあり、住宅街の中に居ることを忘れてしまいます。「子どもたちが四季を感じる環境」を意識され、伺った時には園庭

にたくさん鯉のぼりが気もちよさそうに泳いでいました。白いモダンな園内では、木の温もりにこだわった部屋を子どもたちが裸足で駆け回ります。保育室は全てガラス張り、他のクラスの動きを感じ、クラスを超えて職員同士が協力できる環境です。子どもたちがあそびに夢中になる姿が廊下からも見られました。また、アトリエスタを配置し、アトリエ(造形)活動にも力を入れておられます。さまざまな素材が収納された部屋は、子どもたちが自

由に製作を楽しめる空間です。「ピザ屋さんを作りたい!」という子どもたちの声に、すかさず大きな段ボールを用意し、子どもの制作意欲が存分に発揮されるようバックアップするとのお話も。しいと「思った時に取り組める環境を整え、子どもたちが自ら考えたことを実現できる経験をたくさんさせてあげたい」と園長先生。「子どもの心の声に耳を傾け、一緒に遊び一緒に面白がっていききたい」と、子ど



▲世界中の子どもの健やかな成長を願って泳ぐ鯉のぼりは、地域の方々からの寄付で集まりました

もの主体性を大切にされている園でした。
(編集委員 R・N)

八尾市

遊びを通して

心と体を育てる

認定こども園
ハッピーチルドレン保育園

幼保連携型認定こども園

大 阪メトロ八尾南駅から徒歩10分の場所にある同園は、認可外保育園からスタートし、平成26年4月に社会福祉法人真興会ハッピーチルドレン保育園に。平成30年には、定員159人の認定こども園に移行されました。

木をふんだんに使った玄関を通り吹き抜けのホールから2階へ上がると、たくさん

木をふんだんに使った玄関を通り吹き抜けのホールから2階へ上がると、たくさん



近隣の森林は子どもたちの遊び場



木の香りに包まれる園舎

絵本が並ぶコーナーが目引ききました。人間形成に大切な乳幼児期に、保育者や保護者に絵本を讀んでもらい、絵本に接してほしいとの思いが感じられます。また、「遊びを通して心と体を育てる」という理念のもと、子どもたちがワク

ワクするような経験ができるよう近隣にある森林を活用子どもたちは、凶鑑を片手に虫や草花を観察したり、野菜や果物の栽培収穫を楽しんだりしています。梅の時期には梅ジュースを作って店を開き、その収益の使い道は子どもたちと話しあって決められるとのこと。一人ひとりがさまざまな遊びや体験を通して生き生きと輝き、自分で考える力と生きる力を育てられる園でありたいという園長先生の熱い思いをお聞きました。
(編集委員 H・K)

